

# MOSTLY CLASSIC

DVD&  
別冊公演情報「プチ・モス」  
付いてます。

モーストリー・クラシック

3 MARCH 2008  
VOL.130  
1,000yen

表紙：佐渡裕

2008年1月21日(毎月1回20日発行)通巻130号 2000年11月27日第3種郵便物認可

総力特集

30ページ

## 2008年

# 関西が熱い!

オケに、オペラに、音楽祭—。  
躍動を続ける関西のクラシックを  
クローズアップ!

主役

佐渡裕・ロングインタビュー

ニューイヤー

兵庫・ジルヴェスター

アニバーサリー

びわ湖ホール

朝比奈隆

文化の発信

ホール&オーケストラ

徹底紹介

企業の支援

「世界の小澤」は

京都で教える

オペラ、メディア、演奏家列伝…など、関西の話題を一挙紹介。

「オーケストラ新聞」「グレート・マスターズ」「音楽のある風景」

「武満徹—夢の未来へ」なども関西特別バージョンに。

全部まとめて40ページの「関西特大号」です。

大型連載

証言者が語る—あの時、歴史が変わった

### 「音楽史開封」

### CD誕生

最新のニュースで話題のアーティストを追う

### 「NEWSな人」

### 中丸三千繪

好評連載

秋川雅史の「風の旋律」

### 今年も頑張ります!

[情熱のかなた]

### 田部京子



いま、日本のオーケストラがおもしろい  
個性豊かな演奏家たちが集い、楽団固有の個性を形作る  
オーケストラを知り、楽しむための「月刊新聞」

# オーケストラ

関西  
特別版

## 関西フィルハーモニー管弦楽団

大阪府内にある4つの交響楽団をはじめ、関西には独特の路線を歩む魅力的なオーケストラが群雄割拠でひしめき合う。どの楽団も個性的な演奏活動を展開し、互いに刺激し合って関西文化圏の発展に貢献をしている。今回のオーケストラ新聞は特集ページの中に入った関西特別版。ほかのページで扱っていない関西圏のオーケストラを一挙に紹介する。

関西フィルハーモニー管弦楽団は、1970年にヴィエール室内合奏団として発足。82年1月、関西フィルハーモニー管弦楽団と改称し、2003年10月よりNPO法人として新発足した。

00年から藤岡幸夫が正指揮者に就任、01年には飯守泰次郎が常任指揮者となり同楽団の二頭体制が確立する。短期間でポストが変わっていく現代にあつて、長期的な展望を見据えて質の高い音楽を目指している。藤岡は07年4月から首席指揮者に就任した。

も取り組む。2人で理想的なプログラムの振り分けができ、相乗効果でレパートリーの幅も広がった。同フィルのテーマは、地域密着を重視。地元練習場で聴衆との交流を図り、関西出身の若手演奏家も定期演奏会で積極的に起用している。

飯守とは、ベートーヴェン交響曲・協奏曲チクルスやドイツオペラシリーズなどの成功をはじめ、古典からロマン派の正統が中心のレパートリー。藤岡は、自ら企画した「Meet the Classic」や地方公演でクラシック音楽ファンの裾野を広げ、古典派から現代作品の初演に

藤岡は「Meet the Classic」などの企画演奏会で新たなクラシック・ファンの獲得にも力を入れている



常任指揮者の飯守泰次郎(右)と首席指揮者の藤岡幸夫(左)

### 飯守泰次郎と藤岡幸夫の二頭体制で躍進